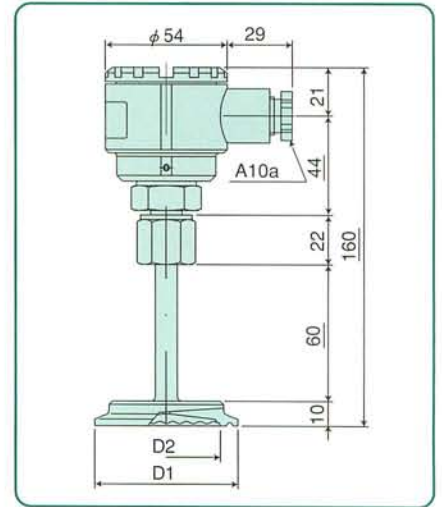


パイプ型放熱管型 SPCHT6-7

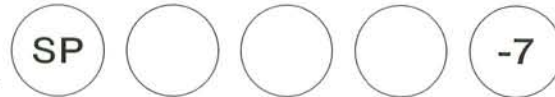


- パイプ型放熱管の大きな特徴は、使用条件が小口径配管用のヘルール取付けで、比較的高温流体測定に極めて優れた性能を有する事です。
一般的にヘルールサイズが15A、1S等は膜径が小さい為に60℃以上の高温測定は、指示誤差及びダイヤフラム変形のために使用不可能を生じる恐れがあります。
パイプ型放熱管を組込む事により、正確な圧力測定と使用期間を永くすることが出来る様に、封入液の封入量を極力少量にしております。
但し、高温測定は140℃迄が限界です。



型式構成

■ サニタリー式圧力センサー



サニタリー式 基本型式	SP				
ヘルール接続		C			
ナット接続		N			
メール接続		M			
SQフランジ型		SQ			
インライン型		IN			
脈動防止用ダンブナー組込み型			V		
60mmフィン放熱管組込型				H	
スパイラル型放熱管組込型				HK	
パイプ型20mm放熱管組込型				HT2	
パイプ型60mm放熱管組込型				HT6	
使用圧力センサー型式					-7

必要な型式をお選びください。

■ 圧力範囲

	ヘルール ナット・メール	SQフランジ型 10A~4S	インライン型 15A~4S
0~0.05 MPa	○ 1.5S以上	○ 1.5S以上	○ 1.5S以上
0~0.1 MPa	○ 1S以上	○ 1S以上	○ 1S以上
0~0.2 MPa	○ 1S以上	○ 1S以上	○ 1S以上
0~0.3 MPa	○ 1S以上	○ 1S以上	○ 1S以上
0~0.4 MPa	○ 1S以上	○ 1S以上	○ 1S以上
0~0.5 MPa	○ 1S以上	○ 1S以上	○ 1S以上
0~0.6 MPa	○ 1S以上	○ 1S以上	○ 1S以上
0~1.0 MPa	○ 10A以上	○ 15A以上	○ 15A以上
0~2.0 MPa	○ 10A以上	○ 15A以上	○ 15A以上
0~4.0 MPa	○ 15A以上	○ 15A以上	○ 15A以上

■ 各種組み合わせ使用条件 (不明な点はお問い合わせください。)

- (1) 接液温度により各種放熱管を選定して組込みます。
- (2) 使用膜厚により性能が変わります。
- (3) 脈動の有無による耐久性をあげるために、使用膜厚が変わる事があります。
- (4) 激しい脈動でご使用の場合は膜の損傷を避ける目的で、使用期間をもうけて定期的に計器本体を交換することをお勧めします。